

第7回日本トルクメニスタン経済合同会議・開催概要

2007年10月

日本トルクメニスタン経済委員会事務局

日本トルクメニスタン経済委員会（会長：室伏 稔 伊藤忠商事(株)元取締役会長）は、2007年9月19日～20日の二日間、トルクメニスタンの首都アシガバードにおいてトルクメニスタン日本経済委員会（会長：タギエフ副首相）との合同会議を開催した。

合同会議1日目はベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領への表敬訪問*1とトルクメニスタン側経済委員会との本会議*2が行われ、2日目に工場訪問（パイプ製造工場、セメント工場）と各社個別面談、トルクメニスタン側との間で議定書調印が行われた。

合同会議への日本側参加者は室伏会長以下総勢36名、トルクメニスタン側出席者はタギエフ副首相、メレドフ外務大臣、ホジャムハメドフ石油ガス工業・鉱物資源大臣以下17名であった。

*1：ベルディムハメドフ大統領表敬訪問時の大統領発言の要約

日本側代表団の来訪を歓迎する。日本から様々な機械設備を購入しており、現在は水利事業関連で使用しているが、今後石油ガス関連においても使用する予定。我が国の新規プロジェクトとして、アヴァザ地区でのリゾートゾーン建設計画、農業用化学肥料工場建設がある。日本企業にこれらプロジェクトへの参加を希望する。その他、通信、輸送、航空、建設分野への日本企業の進出を期待するが、そのためには様々な問題を解決する必要がある。両国経済委員会の合同会議が問題協議の場にふさわしい。

このたびトルクメニスタンのアザジ世界言語大学に日本語学科が設置された。このことが両国間関係拡大のベースになると考える。産業分野のみならず教育分野での二国間交流も活発に行いたい。

*2：本会議次第

ータギエフ・トルクメニスタン日本経済委員会会長（トルクメニスタン副首相）基調報告

ー室伏・日本トルクメニスタン経済委員会会長 基調報告

ー三森・駐トルクメニスタン日本国臨時代理大使挨拶

ー村井・経済産業省通商政策局ロシア室課長補佐挨拶

ー芝元・ジェトロ・タシケント所長報告

「トルクメニスタンを含む中央アジアに関わるジェトロの事業について」

ー林・国際協力銀行モスクワ駐在員事務所主席駐在員報告

「JBICの対トルクメン融資、今後の協力の可能性」

ーグリディムラドフ経済・財務大臣報告（トルクメニスタン経済について）

ーヤズィエフ商業・消費者協同組合省次官報告（優先プロジェクトについて）

ーホジャムハメドフ石油ガス工業・鉱物資源大臣報告（トルクメニスタンの燃料エネルギーコンプレクスについて）

ー参加日本企業各社のトルクメニスタンに関わる事業報告

（伊藤忠商事、丸紅、三井物産、三菱商事、コマツ、日揮、三菱東京UFJ銀行）

以上